

(4) 曲直に関する例

子－子 手－手 了－了

(5) その他

心－心 心－心 心－心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨－雨 雨 戸－戸 戸 戸 無－無 無

(2) 方向に関する例

風－風 風 比－比 比 仰－仰 仰
糸－糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
主－主 主 言－言 言 言 年－年 年 年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又－又 又 文－文 文 月－月 月
条－条 条 保－保 保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥－奥 奥 公－公 公 角－角 角
骨－骨 骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切－切 切 切 改－改 改 改 酒－酒 酒
陸－陸 陸 陸 元－元 元 元 木－木 木
来－来 来 糸－糸 糸 牛－牛 牛
環－環 環

(6) その他

令－令 令 外－外 外 外 女－女 女
叱－叱 叱 叱

令和8年度

JA共済岡山県小・中学生書道コンクール「課題」

区 分		条 幅 の 部	半 紙 の 部
小 学 生	第 1 学 年	れ き し	な え
	第 2 学 年	は つ が	き ぼ う
	第 3 学 年	道 し る べ	い ね か り
	第 4 学 年	種 ま く 時	信 念
	第 5 学 年	伝 統 の 美	幸 せ の 輪
	第 6 学 年	地 域 の 未 来	将 来 の 姿
中 学 生	第 1 学 年	命 育 む 農 業	文 化 遺 産
	第 2 学 年	柔 軟 な 思 考	地 域 貢 献
	第 3 学 年	豊 穡 の 喜 び	雲 外 蒼 天

字 体 に つ い て の 解 説

明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体－手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣－衣 去－去 玄－玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人－人 家－家 北－北

(3) 「筆押さえ」等に関する例

芝－芝 史－史 入－入 八－八

募集課題 (半紙の部)

小学生

第1学年
なえ
一年 共済太郎

第2学年
うきぼ
二年 共済太郎

第3学年
かいね
三年 共済太郎

※半紙課題3文字の名前の位置は、「書道コンクールのご案内」をご参照ください。

第4学年
信念
四年 共済太郎

第5学年
の幸輪せ
五年 共済太郎

第6学年
の将姿来
六年 共済太郎

中学生

第1学年
文産化
一年 共済太郎

第2学年
地域献
二年 共済太郎

第3学年
雲外蒼天
三年 共済太郎

※小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。
字体は、小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字
体に進ずるものとし、このとおりではありません。
参考としてお配りしています。

規格：半紙（タテ約33cm × ヨコ約24cm）

募集課題 (条幅の部)

小学生

第1学年
れきし
一年 共済太郎

第2学年
はつが
二年 共済太郎

第3学年
道しるべ
三年 共済太郎

第4学年
種まく時
四年 共済太郎

中学生

第6学年
地域の未来
六年 共済太郎

第1学年
命育む農業
一年 共済太郎

第2学年
柔軟な思考
二年 共済太郎

第3学年
豊穰の喜び
三年 共済太郎

規格：画仙紙半切（タテ約136cm × ヨコ約35cm）